

# 道産コンブの生産安定化を強化する技術開発 コンブ漁場の管理技術を極める

## 一 雑海藻駆除時期・強度の再評価 一



SKフープ方式による雑海藻  
駆除の様子  
チェーンのついた円盤を船  
上から海底に入れ、油圧で  
回転させ雑海藻を削り取る。

### 背景

- コンブ漁場には人為的な維持管理として「雑海藻駆除」が必要不可欠。しかし駆除経費の負担も大きい。
- 効率的、経済的雑海藻駆除により漁家の経営を改善するため、「駆除時期・強度」の判断基準必要

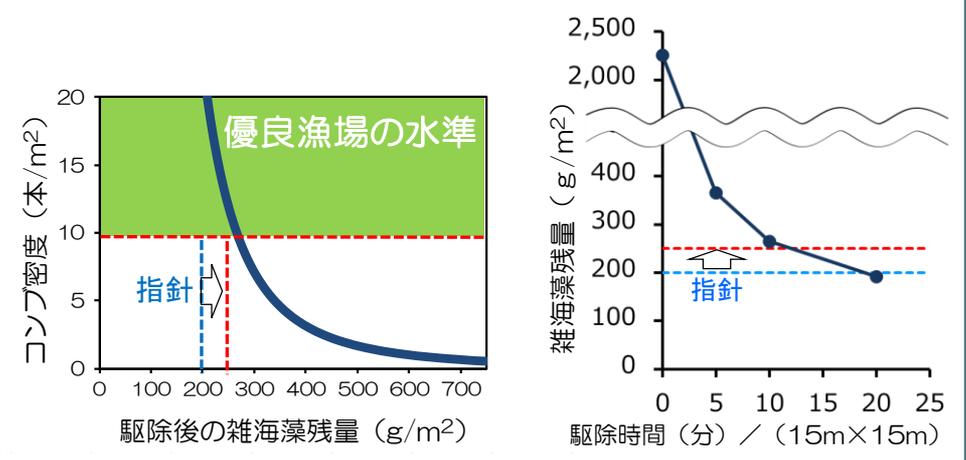
### 成果

#### 1 駆除時期の延長



- 雑海藻駆除によりコンブが繁茂する理由は光環境の改善であることを明らかにした。
- 栄養塩は11月から3月まで豊富であることを明らかにした。
- 従来の駆除期間11～1月を3月まで延長可能と分かった。

#### 2 駆除強度の再評価



- これまでの指針では雑海藻残量を200g/m<sup>2</sup>以下とする必要があったが、250g/m<sup>2</sup>でも優良漁場レベルのコンブ繁茂（密度10本/m<sup>2</sup>以上）が期待できることが分かった。

### 期待される効果

- 駆除期間を延長できたことで、管理するコンブ漁場を広げることができます。
- 駆除強度を選ぶ基準が示されたことで、コンブ漁場管理作業の費用対効果の検討が可能となりました。